

徒の方に多いのではあるまいか。

先生が言はれるのであるからと云ふて疑もせず其の言葉を丸呑みにして、一角のエライ婦人になりすましたつもりであつたが實社會に出で、丸で役に立たないで人に笑はれると云ふ様な事は男生徒よりも寧ろ女生徒の方に多い事ではあるまいか。

特例はどこにもあるから、女學校の生徒、女學校の教室が十が十迄悉く然りと云ふのでは勿論ない、只大體に譯すれば、此の通りではないかと思ふ。

して見れば、生徒をして自ら働いて智識を獲得せしめ、卒業の後も断えず向上し發展する基礎的素養を與へると云ふ事は今日の女子教育の通弊を矯正する上に於て、男子よりも層一層急務であると断言せざるを得ない。それがかく實行せられないのは、まだ社會で女子教育を重んずること男子のそれに及ばないと云ふもの、女子教育に従事するもの、若しくは將來女子教育の任に當らんとするものは、こゝに奮勵一番を要することと思ふ。(近藤)

白金イリヂウム合金の代品

萬年筆用ペンの尖端には金の磨滅を防ぐ爲め白金イリヂウム合金の極めて少量を附しあるは人の知れる所なるが白金は金と等しく粘軟なる金屬なるを以て白金製の器具には特別のものを除きイリヂウムを加へて其硬度を増大するを普通とす然れどもイリヂウムは白金よりも其産額僅かなるを以て其價格は常に白金に數倍せり Scientific

American Supplement No.2172 (本年八月一八日發行)の報する所によれば金屬オスミウムは優にイリヂウムの代品として用ひ得べく然かも一量のオスミウムは二量のイリヂウムと同効果を呈し(硬度につき)其合金は展性あり酸には白金イリヂウム合金よりも侵され難し一〇%のオスミウムを含むものは仕事に困難を感じる程硬度高く、二%を含むものは硬且つ強靱にして寶石細工等に適し六乃至一〇%を含むものはイリヂウムの一五乃至二五%を含める合金使用の向きに廣く適當す但し此合金を製するにはオスミウムは充分精製したる良品ならざる可からずと云ふ。(平田)

洗濯所に於ける汚斑抜き

エ、エフ、マスグレープ氏が National Laundry Journal に掲げた要旨なりとて Scientific American Supplement No. 2170 (本年八月四日發行)に記せる所次の如し。

洗濯所に於てする洗濯法は既に多數の汚斑を除去するが故に更に汚斑抜きを要するは稀に見る特種の場合に限れりと雖も洗濯所は斯る場合にも適當なる藥品を用意し置き頑固なる汚點を去り清布となすを怠らざるは營業繁盛の一策なり余は從來インキなどの附きたるカラーを屢々洗濯せしめたれど洗濯所は唯だ塵埃を去りしのみにて汚點の未だ殘存せるものを持參せり此の如き汚斑を除去するは極めて容易のことなるに洗濯所は其勞を取らざるは洗濯所の恥辱なり。

簡單の爲に余は汚斑を二種に大別す(一)油脂汚斑(二)繪具

汚斑之れなり(一)は減摩油、食品の油脂、タール、ペンキ、ニス等によれるものにして其の特性は水に不溶解なること、す此れ等の汚斑を取扱ふには有機溶媒を以てするを最上とす(二)は果實汁、インキ、染料等によるものにして此等は其色素を分解する薬劑即ち漂白劑を用ゆるを可とす。

市場には如何なる布にも如何なる汚點にも適する汚斑拔劑として販賣せらるゝものあり一種の藥品又は數種の藥品混合物は此の如き萬能劑となり得るか否の問題はさて置き假りにかゝる萬能劑ありたりとするも其々の場合に適したる藥品を撰用するの經濟的なるに如かざるなり次記六種溶液は普通に出遇ふあらゆる汚斑を抜くに足れり。

有機溶媒

- (1) アニリン油(普通販賣品) (2) エーテル(普通販賣品)
(3) 四鹽化炭素(普通販賣品)

漂白劑

- (1) ハイドロサルファイト(濃溶液又は粉狀)
(2) 次亞鹽素酸ナトリウム(トワドル二度の濃さ)
(2) 蓚酸(5%溶液)

次に記する汚點拔法は白布に關せるものとす。

(一)種の汚斑——減摩油は四鹽化炭素を用ゆべし四鹽化炭素は不燃性なるを以て甚だ安全なり動物脂は鹼化し易き爲特別汚點拔きを施す必要なく洗濯法により除去せらるタールは甚だ除去し難きものなれど之を除去する良法は先づ豚脂^{ラード}を以て摩し(軟化する爲)後に温き四鹽化炭素を

以て洗ふべし。ペンキ、ニス、亞麻仁油汚點は温アニリン油を以て洗へば速かに除去し得べし但しアニリン油は乾けば汚點を生ずるも之はエーテルにて除去すること容易なり、アニリン油は漸次酸化し褐色となるが故に常に暗所に貯ふべし。

(二)種の汚點——インキの汚斑は先づ蓚酸溶液にて處理し尙ほ充分抜けざれば次で次亞鹽素酸ナトリウムを以てすべし蓋し蓚酸を用ゆるは多數のインキの含める鐵分を除去する爲にして次亞鹽素酸鹽を用ゆるはインキ中に存するタール色素を漂白せんが爲なり。染料による汚點は數種の黄及褐色色素を除きて外は總て次亞鹽素酸鹽を以て除去せらる然れども本法は唯だ綿布にのみ應用すべきものなり毛布は之が爲に黄色を呈すべし。ハイドロサルファイトは其漂白力次亞鹽素酸鹽の次位にあるものにして之は綿毛共に適用して可なり。ハイドロサルファイトは總ての織布に用ひ得べしと雖も唯だ錫鹽にて目方付けせる絹布には用ゆべからず此場合には鼠色を呈すべし。

ハイドロサルファイトは又果實汁汚點拔きに適し特に黄色汚點にして鹽素に抗するものに可なり。ハイドロサルファイト中汚斑拔きに好適なるは水に溶解し易き其ナトリウム鹽なり之を以て汚斑を除去せんには其少量を温水に溶解し直ちに汚斑上加ふべし。又汚點上に少量の水を加へて汚斑を潤し次で固體のハイドロサルファイトを加ふるも可なれども後法は前法より不便なり。(平田)